

女性が輝くつばめプロジェクト推進事業【燕市】

地域の実情と課題

- 当市は女性の就業率が高い地域ではあるが、より女性の活躍を推進するためには、女性が働きやすい職場環境の整備や女性の人材育成及び登用を促進する必要がある。
- 市内事業者から、業界全体で女性活躍推進について意識が低いという声があがっており、働く女性の声を事業者に届けるとともに、事業者の意識啓発を市が率先して行う必要がある。

事業の特徴

- 市内の経済団体等と協働した、事業内容の企画。
- 身近なロールモデルとして、あらゆる場面で活躍している女性や女性活躍推進に取り組む事業所(団体)を表彰することで、全ての女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを進めるとともに、意識啓発を図る。
- 女性に限らず、事業者や男性従業員も対象として意識啓発を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現や、女性が活躍できる職場づくりの取り組みを促進。

事業の効果

- 今年度の事業展開により、ハッピー・パートナー企業の登録にはつながらなかったが、各事業の評価を見るかぎりでは、女性活躍推進や働きやすい職場環境の整備、ワーク・ライフ・バランスの推進についての意識改革に進展が見られた。
- 各講座や研修等における参加者アンケートの結果や『アンケート調査』の結果により検証を行い、『こまち応援隊』による働きやすい環境整備について市への提言に繋げる体制が構築できた。

目的・目標

- 事業者と協力し、仕事と生活を両立できる働きやすい環境の整備や、働き方の見直しなどの意識改革によりワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、男女が個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現することを目的とする。
- 事業者を対象とした講座等の参加事業所(団体)数
[目標(年間)] 50事業所(団体) ⇒ [実績] 52事業所(団体)

連携団体

- 経済団体
 - ・燕商工会議所
 - ・吉田商工会
 - ・分水商工会
- 行政
 - ・新潟県
 - ・西蒲原郡弥彦村

- 民間事業所
 - ・市内ハッピー・パートナー企業*

*ハッピー・パートナー企業とは

新潟県が実施している企業の登録制度。男女がともに働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用に積極的に取り組む企業のこと。

今後の課題

- 働く女性の声が事業者へ届けきれていない状況は、依然として改善されていない。事業所の職場環境によって事業者や女性従業員の意識に温度差が見受けられることから、事業を継続することで、意識向上や働きやすい職場環境の整備促進、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る必要がある。
- 研修等の参加者総数は前年より増加したが、来年度以降、参加者が固定化されないように、関係各所との連携強化や周知徹底していく必要がある。

事業の概要

●つばめ輝く女性表彰

身近なロールモデルとして、あらゆる場面で活躍している女性や女性活躍推進に取り組んでいる事業所(団体)を表彰する。

【募集】5/30～7/31 ※自薦他薦問わず。

- ・つばめ輝く女性賞—————1名程度
- ・つばめ輝く女性応援賞—————1事業所程度

【受賞】12/3 表彰式実施

- ・つばめ輝く女性賞—————2名
- ・つばめ輝く女性応援賞—————1事業所



つばめ輝く女性表彰—受賞者—

【つばめ輝く女性賞】

- 甲田 清香 様 (藤次郎株式会社勤務)
- 森田 理恵 様 (フジコーポレーション株式会社勤務)

【つばめ輝く女性応援賞】

- 株式会社ハセテック 様 (代表取締役社長: 原田 雪枝 様)

●働く人のためのコミュニケーションスキルアップ講座

アサーティブコミュニケーションのスキルを身につけることで、職場内外のコミュニケーション能力の向上が期待でき、離職の減少や経営力向上につながる。

【開催】5月31日(水) 14:00～16:30 燕市役所つばめホール

【講師】森田 汐生 様 (NPO法人アサーティブジャパン)

『職場で使える！アサーティブコミュニケーション講座』

【参加者】市内在勤の方 40名



アサーティブなコミュニケーションとは？

自分の思いだけを一方的に伝えるのではなく、飲み込んで抱え込むのではなく、自分も相手も尊重した上で、誠実に、率直に、対等に、自分の要望や意見を相手に伝えるコミュニケーションのこと。

●女子会トーク

市内企業の働く女性を対象に、同じ立場の女性が集まり、先輩の体験談を聞いたり、意見交換をすることで刺激し合い、働く意欲の向上を図ることを目的に女子会トークを開催。

【日程】午前・午後に分けて各2時間開催

- ・6月29日 リーダーG、子育て中G
- ・6月30日 若手G、介護中G
- ・7月12日 リーダーG、子育て中G
- ・7月13日 若手G、介護中G
- ・8月23日 リーダーG、子育て中G
- ・8月24日 若手G、介護中G

※各グループに先輩体験談発表者1名とファシリテーター1名を配置して行う。



各グループ参加者

市内10事業所と燕市役所から 計36名参加

- リーダー社員グループ————— 9名
- 子育て中社員グループ————— 9名
- 若手社員グループ————— 11名
- 介護中社員グループ————— 7名

事業の概要

●つばめ女性活躍推進フォーラム

主に事業者を対象としたフォーラム。事業者にワーク・ライフ・バランスの推進、女性が活躍しやすい職場環境をつくることが経営力向上につながることを周知し、事業所のワーク・ライフ・バランス推進への意識改革を図る。

【開催】10月22日(日)13:00～15:00 吉田産業会館 大ホール

【講師】小室淑恵 様((株)ワーク・ライフ・バランス代表取締役)

【参加者】燕市・弥彦村内の事業者および住民 130名



当日の主な内容

- 講演
『結果を出して定時に帰るチーム術
秘訣はワーク・ライフ・バランス』
- 取組発表
- パネルディスカッション
『女性活躍・働きやすい職場環境をつくるための取り組み』

●イクボス研修会

市内事業所に『イクボス』の理解・促進を図ると共に、イクボス宣言を行った市職員の学習の機会として行う研修会を開催。

【開催】7月25日(火)14:00～16:30 燕市役所つばめホール

【講師】安藤哲也 様(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

【参加者】市内事業所の管理職員およびイクボスを宣言した市職員 43名



当日の主な内容

- 講演
『今、なぜイクボスが必要なのか？-中小企業が
ワーク・ライフ・バランスを取り組み業績を上げている！
それは何故なのか？-』
- グループワーク

●活動☆つばめこまち応援隊

働く女性による、仕事と生活を両立できる働きやすい環境を検討し、女性の活躍推進を目的とする女性の活躍創造プロジェクトチーム『活動☆つばめこまち応援隊』を設置。

【構成】市内事業所の従業員6名および市役所職員3名

【任期】任期3年(H28～H30)

【開催】会議を4回開催(4月12日、8月8日、9月25日、2月1日)



プロジェクトチームの活動内容

事業全般の企画および検証を行い、任期最終年には仕事と生活を両立できる働きやすい環境を提言書にまとめ、市に提出する。

●事業所・女性従業員アンケート調査

女性が活躍しやすい職場環境づくりの推進として、今後どのような施策を展開するべきかを検討するため調査を実施。

■ 事業所調査(市内80事業所)／女性が輝くつばめプロジェクト推進事業への参加事業所／
市内ハッピーパートナー企業／女性雇用促進職場環境整備企業

■ 対象女性従業員(市内事業所に勤務する女性従業員65人)／
H27～29年度女子会トーク参加者

アンケート回収結果

【事業所アンケート】 回収数(率): 53(66.2%)
【女性従業員アンケート】 回収数(率): 53(81.5%)

事業所における実態だけでなく、女性従業員に関する実態を把握することができた。